

令和
6年度

COMPASS 発達支援センター枚方

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター枚方
○保護者評価実施期間	令和6年9月10日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 22名 (回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和6年9月10日～令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名 (回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月23日

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育に特化した事業所がまだ少ない中、いかに楽しく療育に取り組むかを従業者全員で考え、余暇の活動も充実させ、その中でソーシャルスキルを学ぶ機会を多く提供しております。	一人ひとりに合った療育を提供する中で、共通の課題がある場合には、複数の児童と一緒に療育することで、競争心や思いやりの気持ちに気付く機会をつくるよう、積極的に取り入れております。	PT等の専門職と連携し、身体の使い方や手先の巧緻性の向上を楽しく図ることができるよう、今後も実践してまいります。
2	保護者様に対しては、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングⅢ等)を実施しております。	保護者様および利用児童のニーズに応えるため、各ご家庭との連携を大切にし、コミュニケーションを図りながら訪問・家族支援を実施し、ご家庭での困りごとへの対応も含めて情報共有と相談対応に努めております。	保護者様からのご相談等に常に対応できるよう、職員の知識向上と、いつでも対応できる体制を心がけております。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域の施設との関わりが薄くなっております。	地域柄、相談支援事業所が少ないこともあり、事業所内で支援が完結することが多くなっております。児童会や地域の施設との関わりは、利用児童の個人情報の観点から関わりを好まれない保護者様もおられ、難しい状況です。	地域の施設との関わりについては、要望アンケートの実施等を通じて、今後かかわりを持てるよう取り組む方向で検討しております。
2	施設はバリアフリーではありません。	支援スペースについてはおおむね段差がなく問題ありませんが、玄関先に大きな段差がございます。一戸建てでアットホームな環境という利点もありますが、築年数が古くなっております。	日々、丁寧な清掃や安全確認を行い、今後も可能な限り適切な環境整備と改善に努めてまいります。
3			